



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

“世界へのプレゼントになろう”

RI会長 K.R.ラビンドラン

2570地区ガバナー 高柳 育行

第3グループ
ガバナー補佐 吉田 譲二

「ロータリーの心を実践しよう」

第2687例会 2016. 2. 17

—— 世界理解月間 ——

天候 曇 (NO. 52-34)

会長 間邊元幸 幹事 土屋 崇

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 平沼君、半田君

例会場: ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 和泉副会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・ビジター (東京昭島RC) ビリー様
- ・米山記念奨学生 ホアン・フォン・チーさん
- ・卓話 小川晃男会長エレクト

【会長報告】 和泉副会長

元会員吉島力良様のお通夜・告別式に多くの会員のご参列、受付のご協力有難うございました。ご冥福を心よりお祈り致します。

藤原会員の御母堂様が永眠。ご冥福をお祈り致します。ご葬儀は2/18・19 郷里の秋田で行われるとの事。詳しくは中里(忠)会員まで。

【幹事報告】

3/27地区大会はバスを準備。3/2(水)11時半、役員理事会。藤原会員御母堂様への御香典は入会同期の中里(忠)会員がとりまとめ、秋田の藤原会員が立て替えて用意するとの事。

◎吉島会員ご会葬御礼: 父の葬儀に生花、香典を賜り、受付も手伝って頂き、多くの方にご参列頂き有難うございました。在籍S39~H7年。北海道から出て来て、入会の時は地元で認められた事を大変喜んでおりました。

◎チーさんに奨学金贈呈 和泉副会長

◎チーさん: 通常例会最後の出席、少し長くお話しします。米山記念奨学生に選ばれてから2年。時間の流れの速さを感じています。2年前まだ日本語が下手な私は大勢の人の前で緊張し過ぎて言葉を忘れてしまう程でした。今は非常によくなりました。皆さんのお蔭です。いつも優しくしてくれて何でも教えてくれて家族と話しているようで、緊張感もだんだん消えました。今、他の所で発表する時もそんなに緊張を感じなかったです。奨学生になる事



は私の人生にとって大きな影響を与えました。経済的に助かる事はもちろん国際的な交流や理解等貴重なイベントを経験出来ました。

1か月に1回、例会に参加させて頂いてロータリアン達と話したり美味しい料理を食べたりするだけではなく、日本の伝統的な文化や芸術等に触れるチャンスもあり、自分の視野を広げ知識をつける事が出来ました。新しい友達も沢山出来ました。皆とすぐ仲良くなり楽しい時間を過ごせました。私を選んで(くれて)有難うございました。とりあえず私は日本でコンサルタントの仕事に力を入れ、日本に住んでいるベトナム人を出来る限り手伝いたい。5、6年したらベトナムに帰り、日本で得た経験を活かして日本の会社で働きたい。出張で日本へ行くチャンスがあるんじゃないかなと思っています。

【委員会報告】

◎雑誌委員会

福島君

「友」2月号、縦組P4、43才8か月でノルウェーW杯3位入賞の葛西紀明さん。努力で夢を叶える、諦めずに頑張った事等。P24、障害者支援の取り組み。横組P7、若い人が夢を持つる未来のために。P33、高柳ガバナーの記事。

【出席報告】 MUなし

前島出席委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
56名	6名	49名	87.50%	83.93%

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・この度は父の葬儀に対し生花、香典を会から賜り、多くの会員の方にご参加頂き有難うございました。吉島君
 - ・武陽山能仁寺 31世虚堂映明大和尚萩野映明様の大夜、葬儀に御参列頂き心より御礼申し上げます。有難うございました。葬儀委員長 平沼君
 - ・本人・家内の誕生日祝い、入会記念日祝い有難うございます。細田(吉)君
 - ・ゴルフで優勝してしまいました。細田(吉)君
 - ・飯能ゴルフコンペにて準優勝でした。兄弟で入賞ですが兄を超えないでよかったです。細田(伴)君
 - ・東京昭島クラブから参りましたピリーです。よろしくお願ひします。(東京昭島)ピリー様
 - ・ピリーさんようこそ。細田(伴)君
 - ・細田吉春さん優勝、伴次郎さん2位、ワンツーフィニッシュで素晴らしいゴルフですね。おめでとうございます。山川君
 - ・小川先生、卓話ごくろうさまです。土屋(崇)君
 - ・情報委員会ですが本日の例会担当です。小川先生よろしくお願ひします。安藤君
 - ・早退 高橋君、神田(敬)君、田辺君
- 本日計 45,000 円、累計額 823,041 円。
◎2日例会当番は服部、細田(吉)会員です。

【卓話】

講師紹介 安藤ロータリー情報委員長
間邊会長の年度方針にある「中・長期計画」は今後いろんな意味で大事になってくるのではないかと思います。昨年12月、会長、副会長、会長エレクト、その次の会長予定者で情報委員会を開催。その内容は「クラブ戦略計画」①クラブのサポートと強化(増強)、②人道的奉仕の重点化と増加(地域に根差した、皆に認知されるような奉仕を考える必要がある)、③公共イメージと認知度の向上でした。

クラブ戦略計画 飯能RC中長期計画

飯能RC 会長エレクト 小川晃男会員

12/2 満寿家にて炉辺会談。出席者は安藤、吉田(武)、山川パスト会長、間邊会長、和泉副会長、次期副会長の島田会員と私。テーマは「中長期のクラブの展望、あり方についてどう考えるか」。「中長期」とは安藤委員長によると「5年乃至10年」でした。

RCの現状について。[映像併用] 1クラブ平均会員数、日本39人。世界でも40、50人というところ。当地区平均33人。多いのは東京、愛知、福岡。年代別(国内)では25、6年前20人以下2%、20~40人20%、40~60人がこの位。2010年、20人以下が増え、20~40人が一番多い。飯能は平均より多いクラブの1つ。当地区は20数年前、20人以下のクラブは無く、多いのは40~60人のクラブだった。ここ5年間は20人以下が26%、ほとんどが20~40人のクラブ。日本の会員数は1990年からずっと増え、96年13万人超。そこから減り、2011年9万人程度。クラブ数は横ばいで2,300位。1クラブの会員数がどんどん減ってきている事を示す。戦前からのクラブで女性会員の居るクラブは20%強。2000年以降承認の若いクラブには多い。国内で女性会員の居るクラブは55%。当地区女性会員の割合は4.3%と少ないが、女性会員を擁するクラブは半分以上ある。



飯能クラブは1964年、チャーターメンバー36名。10年後からは60~70人超の年もあった。2000年から減り気味でこの15年は60人弱で横ばい。

今後どうするか。会長方針を受けて炉辺会談。今後10年を考えるのに会員数は大事。何としても「60人前後」を維持したい。

そのため、1) 会員増強委員会に努力して頂く。それだけに任せるのではなく会員お一人お一人意識を持ち候補になるような人物を日常的に探して頂く。2) 未充填職種を重点的に探す。生命保険、証券会社、銀行に改めてお話する。3) 女性会員を積極的に探す。出来れば2人ペア以上で入会して頂く。4) 候補になる方にとってRCの組織について分かり易くする必要があるのである。そのため市民に存在をもっとアピールする必要がある。その1つとしてメディアの力を使う。既に協力して頂いているがもっと方法論を洗い直してみる。「市民にアピール出来る何か」皆様から良いプランがありましたらお教え頂きたい。5) お金が掛かってもいいから市民に対し公共イメージが上がるような方法が無いのか。そのためには我々の活動の可視化が出来るが良い。昨年、加治中にティンパニを贈った事は効果があった。6) 当クラブにもHPがある。ネットを使った広報活動について考えられる事は無いのか。7) 中長期的活動を考えるにあたり、本来RCは単年度の活動が基本。継続する場合どうするか。ベトナムの学校にPCを贈る事業は完結しているわけではなく当時の藤原委員長からは「続けたい」との事。私の年度でまた出来ればやりたい。中長期的事業をシステムとしてとらえていく場が現在このクラブには無く、上手くシステム化出来ると良いのではという意見が出ました。具体的には、委員長を決める際、次の委員長になりそうな方を副委員長として指名する等。年度会長が人事を決めるので、その兼ね合いもあり、すぐというわけにはいかない。話し合いが必要になってくると思います。

6) について。「グーグル」で「飯能ロータリークラブ」を検索すると古いHPから現在のHPに移行します。「飯能ライオンズクラブ」はフェイスブックを使用、飯能RCに比べフレンドリーな作りです。「マピオン」では「飯能ロータリークラブ」が検索出来ませんでした。インターネットに詳しい人が居れば上手くやってもらえるのかなあと感じました。

結論はどれも出ていません。「提言」「協議事項」「問題意識」その辺で炉辺会談は終わっているわけなのです。是非皆さんに考えて頂けたら嬉しいです。地元根付いてお仕事をなさっている魅力的な方はたくさんいらっしゃいます。このまちで育て、いつかまた戻って来てくれる若い人もたくさんいらっしゃいます。そういった方々にRCについて分かってもらえるようにしたい。それはやはり、地元貢献出来るような奉仕、特に「青少年」に対して可視化出来るような活動が出来れば良いのではないかと。キーワードは「継続性」。安藤委員長からは「特別委員会」という場を創る、今回の炉辺会談のようなメンバーで「継続性」について話し合えば、ある程度うまくいくのではないかとというご意見を頂いております。